



令和8年3月27日

川口市保健所

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起

さいたま市に届出があった麻しん患者について、さいたま市保健所が行動調査を実施した結果、以下の施設を利用していることが判明しました。

感染の可能性がある時間帯に当該施設を利用された方で、麻しんを疑う症状（高熱・発疹・咳・鼻水・目の充血等）が現れた場合は、事前に居住地を所管する保健所に電話連絡の上、指示に従い医療機関を受診してください（特にワクチン未接種の方についてはご注意ください）。

また、受診の際は、感染拡大防止の観点から、公共交通機関の利用は避けてください。

記

【麻しん患者が利用した施設】

利用時間帯 (健康観察期間)	施設名	所在地
令和8年3月19日（木） 15:30～17:30 (令和8年4月9日（木）まで)	マルハン川口店	川口市緑町9-35
令和8年3月19日（木） 20:10～20:30 (令和8年4月9日（木）まで)	JR川口駅～（JR京浜東北線）～JR南浦和駅	

※ 施設へのお問い合わせは、ご遠慮くださいますようお願いいたします。

※ 麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされています。現時点において麻しん患者が利用した施設を利用されても心配はありません。

【麻しんの症状等】

- 麻しんの潜伏期間は、通常10～12日間（最短5日間～最大21日間）
- 麻しん患者と接触した場合には、接触後21日間、注意が必要です。
- 麻しんに感染すると、約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。

【注意喚起】

- ・ 現在、全国で麻しんが増えています。また、麻しんは海外で流行しており、帰国後に麻しんと診断された報告例も増えています。流行地へ渡航を計画している方は、渡航先でどのような感染症が流行しているか確認するとともに、自身のり患歴や予防接種歴を確認し、抗体検査や予防接種を受けることをご検討ください。
- ・ 旅行地域から帰国後、体調不良がある場合には速やかに医療機関を受診し、「いつ、どこへ渡航し、どのような症状が出ているか」を伝え、医師の指示に従ってください。
- ・ 麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の定期接種（1歳と小学校入学前）がお済みでない方は、接種をご検討ください。

患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いいたします。